

JR東労組盛岡

No. 84
2025年1月29日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 大村 博行
編集人 情 宣 部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

車掌「2025年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れ 本日提出!

盛岡地本は2024年12月17日に「2025年3月ダイヤ改正について」の提案を受け、組合員との議論を行ってきました。今ダイヤ改正では、各線区における利便性向上、お客さまのご利用実態に合わせた輸送体系の見直しを図るとしています。さらに、各線区でご利用状況と当社を取り巻く環境の変化を踏まえて効率的な輸送体系を実現させることを目的に、運転時刻、車両編成の見直しやワンマン列車の拡大を行うこととしています。また「お客さまのご利用実態に応じて」との理由で見直しを図っていますが、各線区での列車本数の減少、山田線においては盛岡駅から宮古駅までの直通下り最終列車が盛岡駅発13時12分であり、さらにお客さまのご利用が減少することを危惧しています。

「融合と連携」の名のもとに、職場では多くの企画業務等が行われていますが、本来業務を行える体制創りが必要であり全社員一丸となって安全安定輸送の確保とサービス品質の向上、お客さまのご期待に応える「輸送サービス」の創出に向け取り組んでいかなければなりません。そして、乗務に集中できる行路を創り全社員の「安全・健康・ゆとり・働きがい・豊かさ」が担保された業務体制の構築が必要です。従って下記の通り申し入れをしました!

【共通】

1. 整理時間を変更する目的と理由を明らかにすること。また、変更する箇所と担務を明らかにすること。
2. 列車遅延等で運転状況報告書を記載する時間は労働時間として取り扱うこと。またその場合の割増賃金単価を明らかにすること。
3. 2025年度における運転士養成について車種毎・職場毎の養成計画と指導操縦者の人数を明らかにすること。また、新規車掌研修と新規運転士研修のスケジュールを明らかにし、開催時期・養成期間が重複しないようにすること。
4. 相互運用を行っている職場における、車掌に関する教育時間と教育内容を明らかにすること。
5. 運転士と車掌の相互運用については、要員補充として行わないこと。
6. 鉄道の安全を守るために乗務前の駅業務や企画業務等は行わせないこと。
7. 各線区での特別企画乗車券実施期間中やイベント等多客が想定される場合には車両増結すること。
8. 22時以降始発の列車はツーマン運転とすること。特に、2544Mは酔客対応等の車内秩序確保の観点と安全確保の観点からツーマン運転とすること。
9. 各現業機関において、業務に必要な現在員数を確保すること。

【八戸統括センター】

10. 行路内での運転士と車掌の切替は1回とし、安全を確保すること。
11. 車掌用シミュレーターを設置すること。

【盛岡統括センター】

12. 行路及び乗務割交番の作成についての考え方を明らかにすること。
13. 23行路の回643Dの大幅遅れが見込まれる場合には、翌朝に「便633D~3636D」を設定し救済臨時行路で対応すること。
14. 山田線において、盛岡駅から宮古駅までの直通下り最終列車が盛岡駅発13時12分であり、さらにご利用が減少することが懸念されることから対策を講じること。

【一ノ関統括センター】

15. 狛鼻溪駅と気仙沼駅にSuica対応機器を設置すること。
16. B21行路3730Dを現行下2番線から客留1番線に留置のところ、北上本線に留置とすること。